

(調書記載要領)

- 1 本調書は被表彰者の選考のための基本票となるので、記載事項は同様式により簡潔明瞭、かつ、的確に所定欄に記入してください。
なお、「技能の概要」及び「功績・貢献の概要」の欄について、一葉で記入することが困難な場合は、二葉以上になっても差し支えありません。
- 2 「氏名」欄には、戸籍に記載されている字画で氏名を記入してください。
- 3 「生年月日」欄には、戸籍に記載されている生年月日を記入し、() 内に表彰日(令和7年(2025年)11月20日)現在の満年齢を記入してください。
- 4 「最終学歴」欄には、最終の学校名(大学及び高専の場合は、学部・学科名を併記)及び卒業(又は中退)年月を記入してください。
- 5 「就業地」欄のうち「事業所名」欄には、雇用されている場合にあっては雇用事業所名を、自営している場合にあっては屋号等を記入してください。
- 6 「職歴」欄等は、次により記入してください。
 - (1) 「職歴」欄には、就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等の異なるごとに記入してください。
 - (2) 「在職期間」欄には、その職の始期及び終期を記入してください。
 - (3) 「重複を除く年月数」欄には、表彰に係る技能を要する職種に従事していた期間の合計を記入してください。
- 7 「技能の概要」欄には、関連する参考資料に合わせて、当該技能者の従事する職種、技能の水準、範囲、特徴あるいは他の技能者との比較等の観点から優れた技能を有するものであることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に具体的に記入してください。
- 8 「功績・貢献の概要」欄には、関連する参考資料に合わせて、その者が当該技能をもって製作又は建造等をしたもので、当該技能者の技能の程度の判定に資するとともに、企業、産業界及び社会に対する貢献度等において高く評価されているような代表的な事績について具体的に記入してください。
- 9 「後進指導育成の概要」欄には、その者が後進の指導・育成にあたった方法、対象及び範囲等について具体的に記入してください。
- 10 「現役性」欄には、その者が現役の技能労働者であるかを確認するため、その者の有する技能に関連した職種にかかる1日平均の就業時間又はその者の有する技能に関連した職種に専ら就業しているか否か等を具体的に記入してください。